

(C調の近親調)

ダイアトニックコード表・1

90

- ・「C調」の「近親調」で、よく使われる「ダイアトニックコード」です。
- ・★は、短調時、「自然的・短調」の場合です。
- ・導音は、変化記号の場合のみの注釈。(その他の第7音は、略記)

調号 (変化記号)
導音

記号は平行調の関係

○ **C調** 主調

C Dm7 Em F G7 Am Bm7^{b5}

シ

□ **F調** 下屬調

F Gm7 Am B^b C7 Dm Em7^{b5}

シb

ミ

△ **G調** 属調

G Am7 Bm C D7 Em F#m7^{b5}

ファ#

ファ#

A調

A Bm7 C#m D E7 F#m G#m7^{b5}

ド#・ファ#・ソ#

○ **Am調** 平行調

Am Bm7^{b5} C Dm E7 Em7 F G7

ソ#

□ **Dm調** 下屬平行調

Dm Em7^{b5} F Gm A7 Am7 B^b C7

シb

ド#

△ **Em調** 属平行調

Em F#m7^{b5} G Am B7 Bm7 C D7

ファ#

レ#

Cm調 同主調

Cm Dm7^{b5} E^b Fm G7 Gm7 A^b B^{b7}

シb・ラb・ソb

シ

- ※ 「調号・変化記号・導音」は、「自然・和声・旋律」的・短音階の選択により、異なるので注意
- ※ 「第7音」の半音上げは、「V度」のみ。他は、上げない。(「好み」ではあるが、一般的)
- ※ 「V度」には、「(自然的)短調」のコードも、使える場合があるので注意。
- ・下記、「着色。」の背景は、「C調」に対する「ピボット」コード。(3和音。ただし、4和音時は注意)
- ・「同主調」も、「準固有」和音の代理で、「ピボット」を模索することも可能。
- 例。特に、IV度「C:F」を、「Cm:Fm」に代理して、「Cm調」にピボット転調する。など

調号

- 主調 ◆ **C調。**
- ♭ **F調**
- # **G調**
- # × 3 **A調。**
- 平行調 ◇ **Am調**
- ♭ **Dm調**
- # **Em調**
- ♭ × 3 (同主調) **Cm調**

	I	II	III	IV	V	VI	VII	調号/導音
主調 ◆ C調。	C _o	Dm7 _o	Em _o	F _o	G7 _o	Am _o	Bm7b5 _o	/シ
♭ F調	F _o	Gm7	Am _o	Bb	C7_o	Dm _o	Em7b5	シb/ミ
# G調	G _o	Am7 _o	Bm	C _o	D7	Em _o	F#m7b5	ファ#/ファ#
# × 3 A調。	A	Bm7 _o	C#m _o	D	E7	F#m	G#m7b5	ド#・ファ#・ソ#
平行調 ◇ Am調	Am_o	Bm7b5 _o	C _o	Dm _o	※E7(Em7 _o)	F _o	G(7 _o)	/ソ#
♭ Dm調	Dm_o	Em7b5	F _o	Gm	※A7(Am7)	Bb	C(7_o)	シb/ド#
# Em調	Em_o	F#m7b5	G _o	Am _o	※B7(Bm7)	C _o	D(7)	ファ#/レ#
♭ × 3 (同主調) Cm調	Cm	Dm7b5	Eb	Fm	※G7 _o (Gm7)	Ab	Bb(7)	シb・ラb・ソb/シ